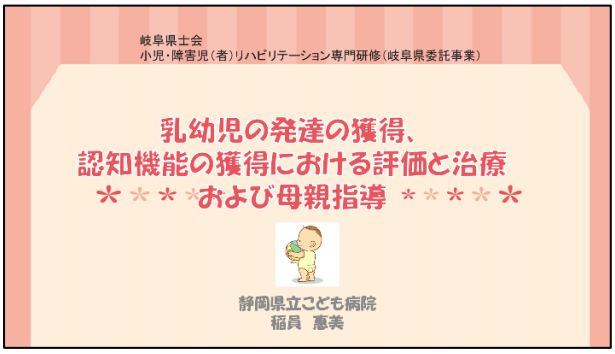
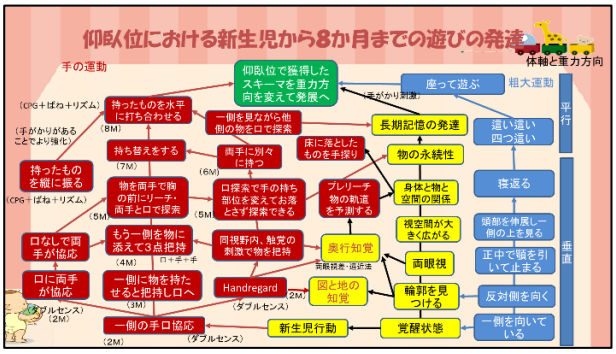
令和３年度 小児・障がい児(者)リハビリテーション専門研修(岐阜県委託事業)　報告書

日時：令和４年２月 26 日(土)13:30～17:15　27 日(日) 9:00～12:15
場所：Web 研修会(Zoom ウェビナーを使用)
テーマ：岐阜県の小児・障がい児者 医療支援施策について
講師：松永正樹様(岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課障がい児者医療推進係)
テーマ：乳幼児の発達の獲得、認知機能の獲得における評価と治療および母親指導
講師：稲員恵美先生(静岡県立こども病院 理学療法士)
参加者数：101 名(全て岐阜県内在勤者 内訳：理学療法士 77 名・作業療法士 20 名・言語聴覚士４名)





平成 28 年度から始まった専門研修。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、今年度は Web にて開催する運びとなりました。参加者は 100 名(スタッフ含む)を超え、小児領域への関心、ニーズの高まりを感じられます。

松永様からは岐阜県における小児・障がい児者の現状や取り組みについてお話していただきました。岐阜県における医療的ケア児は増加傾向にあり、医療・福祉人材の育成・確保に向けた取り組みが行われています。この研修もその一環であり、小児・障がい児者に携わる人材が増え、質が高まることを期待しています。

稲員先生といえば呼吸リハビリテーションのイメージが強いですが、今回は「発達の基礎」について講義して頂きました。子どもの発達を「見る」ということは、できていることを「見る」のではなく、子どもが行っている行動「何を見て」「どのように動いて」「物をどのように扱うのか」を観察し、子どもの発達段階と課題を探り出すこと。今回は遠城寺式乳幼児分析的発達検査法を用いて、各項目の意義やそれぞれの項目との関連について講義して頂き、各項目を獲得せず発達したお子さんに関しては、戻って改めて獲得していく必要があることを学びました。また、項目の行間を埋めていくことが大事であることも学びました。たくさんの資料と臨床の貴重な写真や映像をたくさん提供していただき、大変わかりやすい講義でアンケート結果においても 72%の方が非常に満足と回答頂きました。

小児は難しい、接し方がわからない等のイメージをもたれる方が多いように思われますが、私はお子さんたちの発達を保護者の方と一緒に悩み、成長を喜びあえる素晴らしい分野だと思っています。一般病院や訪問リハビリテーション等、小児に関わる方が増えています。こういった研修をきっかけに各機関が連携し、お子さんとご家族により良い支援をしていけるとよいと思います。

こども福祉部　山本沙代